

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。
《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。
《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp
※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

▼高校2年生 藤崎台球場 夏の甲子園
県予選での打席



先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもの頃の思い出を話してもらうコーナーです。

私の青春

私は学生時代ずっと野球をしてきました。その中で忘れられない打席があります。

中学時代、目立った成績を残せなかった私は高校入学してしばらくはキャッチボールさえできませんでした。実績のある同級生が先輩と練習に参加している中、練習補助しかできない日々…。悔しい思いでいっぱいでした。そんな中でも「自分にできることを続けよう」と帰宅後、父とバッティング練習をしたり、走り込みだりしていました。

ある日、初めてバッティングができるチャンスが巡ってきました。自分をアピールできるチャンス。思いっきり振り抜いた打球はグングン伸びて、ホームランになりました。自分でもびっくりしてしまいました。この打席をきっかけに、次の日から練習に参加できるようになり、秋の大会からレギュラーに入ることができました。

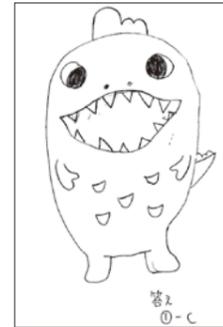
「諦めずに練習してきた良かった。父ちゃんありがとう」今でも忘れない私の思い出の打席です。



御船中学校 富永 裕喜 教諭
(益城町出身)



藤原 駆さん



藤原かりなさん



藤原ひまりさん



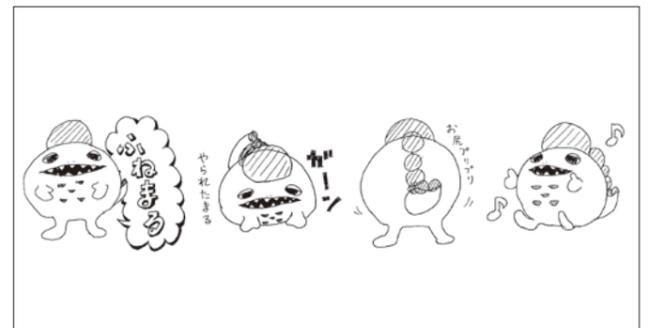
イラストは
たてに描いてね



中村 美月さん



遠山 紀杏さん



ふるまるさん

文芸

短歌

身の丈にちよつぱり駆けた年女柔和に生きよう羊の如く
平野 文子

新春の宴の中にはしやぎいる孫ら曾孫らの未来安かれ
藤本 京子

元気よく長生きを願ひ掌を合わす氏神様に朝光はさす
正宗タツ子

長座して立てばよろめき転びそう身の衰えを齢に知りぬ
山本志満子

祭神の名は知らねども手を合わす臣にそれぞれ小さきみ社
市川 結子

歳の瀬に老若やから集い来て餅つき囲む我が家の習い
奥田利恵子

四冊目三年日記を購えり無為のひと日を吾が生きさまを
甲斐レイ子

親芋にしがみついている五つ六つ振り起こされて子別れの今
金森 英子

紫の木蓮の花高々と白き裏見せ気丈に咲きぬ
北村ヤヨイ

俳句

なずな粥厨に青き匂ひかな
丹生 則子

吸り泣く声なき声や涅槃絵図
黒田 順子

御船春菊句会 水野つとむ選

また一つ花鉢買ひぬ春隣
さとうともこ

立春にはげまされたる心かな
波辺 澄江

春立つやおーいと呼んでみたくなる
緒方 栞

猫の名も書き添えてある賀状かな
坂田志美子

草青むただそれだけで楽しくて
渡辺ケイ子

肥後狂句

天狗会

心もとない 夜中アひとり戻らなん
増永 笑和

遠慮しなすな 会費はちやんと貰います
河地 ゆき

まだ早い 師匠がしぶるのれん分け
林田 実花

そら困る 避難はせんて意地はらす
藤本 好水

よかライバル 譲つてなるかエースの座
川部 呉穂

遠慮しなすな 俺も貰うた袖の下
吉田 楽園

天変地異 俺の生きとる内は待て
木村 道草

見たこつか 健康器具でくたびれた
田中 穂波

一般投稿

「御飯よ」と呼べど答えず老い母の難聴すすむ夕茜雲
川口 勝行

ピロリ菌に酒止められて七日間除菌が終わり今日は呑めるぞ
河部 二男

八勢川をまたいでかかる石の橋上野の誇り眼鏡橋かな
川部 寅男

菜の花や風にまかせて黄の群れ
山紫

京の旅嵐山をば散策す桂川とや涼川さそふ
松岡 文江